

No. 16 号 ひらつかの風

2020年9月号
(令和2年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちが、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1 ……第2回平塚市みんなのまちづくり事例表彰
P.2 ……団体レポート『親と子の寺小屋 ふれあい自遊塾』
P.3 ……お役立ち情報
P.4 ……平塚市情報・センター情報

団体 レポート

『親と子の寺小屋 ふれあい自遊塾』



平塚市情報

第2回

平塚市みんなのまちづくり事例表彰

募集期間 ◆ 9月4日(金)から 10月9日(金)まで

市民活動団体や自治会町内会などの地域で活動する団体、事業者、大学等が市内で実施する、地域の課題や困りごとを解決する活動・取組みを募集します。

(※新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小・休止等している活動も応募対象となります。)

特に優れた取り組みは、「年間大賞」として市長表彰されます。また、応募された取り組みはすべて、「平塚市みんなのまちづくり事例集」に掲載され、広く市民や事業者へ活動がPRされるので、事業への参加者や会員が増えたり、協力者が見つかったりするかもしれません！

応募用紙や詳しい応募条件は、市ウェブサイトやチラシをご覧ください。

お問い合わせ ● 平塚市役所協働推進課 市民協働担当 ☎0463-21-9618



団体
レポート

『親と子の寺小屋 ふれあい自遊塾』

「子どもの成長は遊びを中心に展開する」という理念のもと、ボードゲームをはじめ様々な手法を用いて心と脳が育つプログラムを提供するなど日々活躍されている、「親と子の寺小屋 ふれあい自遊塾」代表の加藤啓子(臨床心理士)さんにお話を伺いました。

■設立した目的と現在の活動

増え続ける子どもの諸問題の背景には、人とかかわりあう機会が少なくなったこと、とりわけ人と遊ぶ体験の不足があるといわれています。子どもの「心育て」についての研修をさせていただきながらも、実際に親子仲間が心触れ合う遊びを通して心身の発達を促すような体験を提供したいと考え、2015年賛同する仲間とともに「親と子の寺小屋 ふれあい自遊塾」を設立しました。主な活動は、ボードゲームのほか手遊び・気持ちの落ち着く呼吸法・論語の素読などを組み込んだワークショップです。心の子育てについての講習会・地域イベントへの参加・発達障がいから不登校といった個別相談、子ども関連施設への出張ワークショップ、ゲーム貸し出しなど各種事業を行っています。しかし、現在はコロナ禍の影響で活動が制限されているため、様々な媒体を通して、不安解消・気分転換の方法などを発信しています。



■なぜボードゲーム？

コンピューターゲームが普及し、『ネットゲーム依存』が問題となっていますが、その予防策として専門家の間でもボードゲームが注目されています。

同じルールのもと、

①相互の気持ちを考え自分で考え判断

②失敗しても再挑戦する意欲

③運だけでなく技も使い大人とも対等に遊べる喜び等々、

自己肯定感をはじめ、社会性、コミュニケーション力、共感性、達成感などが育まれ、心の成長や不安の予防、回復に役立つ事が認められている主な理由です。

参加者からは、「ゲームが理解でき、一緒に遊べた自分が嬉しい、楽しかった」、「頑張ると言ってもらえて嬉しい」など多くの声が寄せられています。



■今後の目標

本来、子どもは遊ぶことを中心に多くのことを学び、社会に生きる力を身につけていきます。ボードゲームには、遊びのエッセンスが凝縮されており、短い時間、限られた空間で遊び体験ができる有効な手段だと思いますので、そのすそ野が広がっていくようにしたいです。ふたつ目は、子育て支援については3歳児までは手厚く支援されていますが、それ以降は少ないと感じています。就学前後の子どもたちが安心して集団生活を過ごせるように支援を広げるとともに、団体内では活動の中心となる人材を育てていきたいと思っています。

コロナ禍の今、心の免疫力をより高めるお手伝いができればと、「新しい生活様式」にあった活動を模索しています。

就学前後の子どもと親のために日々活躍されている「親と子の寺小屋 ふれあい自遊塾」に興味がある方は、是非連絡を取ってみてください。

電話番号 ◆ 070-2629-1986 (自遊塾)

アドレス ◆ jiyujuku.koyurugi@gmail.com

Web Site ◆ 親と子の寺小屋ふれあい自遊塾

検索!

親と子の寺小屋 ふれあい自遊塾

加藤さんご提供資料(一部、抜粋)

『コロナ禍における子どものストレスとその対応』

(北海道臨床心理士会作成)

●不安になったときに

「不安を外に追い出すように、ゆっくり深呼吸してみよう。10回続けてみて」

●気分転換に

「せっかくできた時間。普段できなかったことをやってみない? 手芸、制作、料理、片付け、昔好きだった遊び、トランプやボードゲーム。家族でやるのも楽しいかもね」

お役立ち
情報

助成金申請書の書き方(コツ)



今回は助成金申請時の留意点について考えてみたいと思います。

助成金とは皆様の事業活動を支援するための制度で、例えば「地域活性化」「創業助成」などそれぞれ目的が設定されています。

NPO 法人等に設立目的があるように、助成元もそれぞれ設立目的を持っているので、その目的に沿った事業計画であることを必ず明確にしてください。

★助成金申請はその目的を達成するためのお金であること・それが団体のステップアップにつながるものであることが前提にあり、更にその事業によって地域及び社会の課題解決に波及効果があるかどうかが大変なポイントです。簡潔に言うと、助成元の期待する効果が申請する事業によって達成できると説明できれば良いのです。

★申請する際、資金がないからという理由は重要ですが、一方でそれであつたら無理して事業をしなくても良いのでは？という見方にもなってしまうので、触れない方が良いでしょう。

★申請しようとする事業が必要とされる背景を具体的にし、自分の団体が目指す「ゴール」を実績があれば明記するのも得策でしょう。

★事業計画：いつ・どこで・誰が・何をするのかを具体的に。

★助成金の情報を集める：助成財団・各支援センター・社会福祉協議会等のウェブサイトをごまめにチェックしましょう。

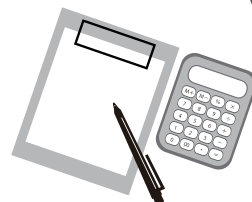
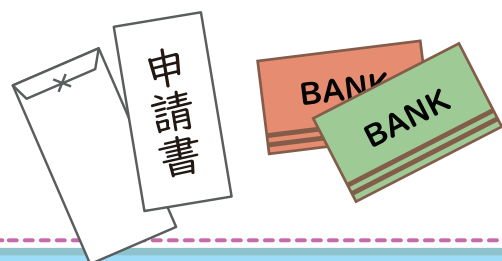


 申請の際に気をつけたいこと

1. 団体の活動内容……団体の目的に従って、どのような活動(事業)を行っているか
2. 助成を選んだ理由…助成内容と申請する事業とのマッチングを確認し、その目的に沿った事業計画を作成する
3. 事業計画は簡潔かつ明確に(前向きな表現を使い、目標は具体的に数値で表現する)、売りは端的に、アピールは主観的な事項(当団体は〇〇が得意)より客観的な事実(当団体は〇〇賞を受賞した)を述べる
4. a. 申請内容が社会的にどのような効果があるのか
b. 事業内容は、専門用語はなるべく使わず分かりやすい表現で
5. 提出する前には、団体を知っている人と知らない人に読んでもらうことも効果的

 助成後の対応

助成元は団体に対し成果が出ることを願っているはずですが、よって、定期的に活動の進捗状況をウェブページなど SNS 等で逐次発信することを忘れないようにしましょう。助成事業終了後も、なるべくコミュニケーションを取って信頼関係の継続を図ることも大切ですね。(は)



センター情報

●団体活動にお役立てください!

「ひらつか市民活動推進月間 & ひらつかボランティアフォーラム」開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年規模のセンターまつり開催が困難なため、その代替措置として、「新しい生活様式」に則った各種イベントを開催する予定です。

■ひらつか市民活動推進月間…11月1日(日)～30日(月)

期間中 ● Webでの団体紹介・チラシ大賞・ひらつかデコレーションマスク大賞など

■特別企画…ひらつかボランティアフォーラム(参加団体 20団体予定)

日時 ● 11月29日(日)10:00～15:30 会場 ● ひらつか市民活動センター、崇善公民館及び屋外スペース

※緊急事態宣言等が発出された場合は、その方針に従い中止となる場合もあります。



講座「助成金申請、獲得のヒント」

コロナ禍の中、活動資金の調達に困っていませんか? 助成先の選び方、申請書の書き方と留意点・ポイント、具体的な事例から学びます。

日時 ● 9月19日(土)14:00～16:00 場所 ● ひらつか市民活動センター

ゲスト ● NPO法人 きしゃポッポ 花上有紀氏、田邊愛氏

● NPO法人 ぜんしん 理事長 柳川涼司氏

定員 ● センター受講 15名(先着順) 参加費 ● 無料

※オンライン受講あり: ZOOMでの受講可、メールにてお申込みください。



10月のまちづくりミーティング オンライン開催『コロナ禍における市民活動の今後を語り合いませんか?』

コロナ禍で市民活動も大きな影響を受けています。しかし、これをチャンスと捉え、これまでの活動を見直し新たな活動を始める動きも出てきました。これからの市民活動について自由に話し合ってみませんか?

日時 ● 10月2日(金)18:30～20:00

ゲスト ● NPO法人 平塚のら猫を減らす会 理事長 平田昇氏 定員 ● 10～30名程度

※ZOOMを活用して開催するため、メールにてお申込みください。



平塚市情報

令和3年度実施 協働事業の公開プレゼンを開催します

令和3年度に実施する提案型協働事業の公開プレゼンテーションを次の日程で開催します。今回は市民提案型協働事業4件(新規1件・継続3件)、行政提案型協働事業2件(継続2件)の熱い思いの公開プレゼンが行われます。

日時 ● 10月3日(土)13:30～15:30

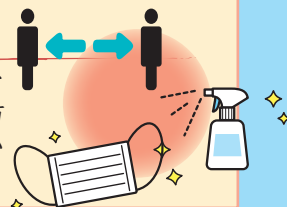
場所 ● ひらつか市民活動センター(見附町1-8) 申込 ● 不要(入退場自由)

※緊急事態宣言等の状況により入場制限がある場合があります。



編集後記

新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な中、団体各位に於かれてはオンライン等様々な工夫をされての活動が戻りつつあることと思います。尚、感染症対策のため利用人数制限・予防対策チェックリスト提出等大変ご不便をお掛け致しておりますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(長谷川)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町1-8

TEL ● 0463-31-7571

FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数(2020年8月17日現在)

登録団体数 ● 483 団体

(内訳 市民活動団体…338 団体、一般団体…145 団体)

